

和歌山病院での実習を終えて



笠原 千聖

今回私たちは、第三内科での実習期間中に和歌山病院で二日間実習をさせていただきました。和歌山病院での実習は医大では体験できないものもたくさんあり、とても新鮮でした。実習の内容としては、和歌山病院には結核病棟があるということでその部屋の見学や結核に関する勉強を主にさせていただきました。大学の講義でも結核については学びましたが、今まで自分が十分には理解できていなかったことも発見でき、とてもいい勉強になりました。その他には呼吸管理について学んだのですが、酸素マスクを体験できたことが印象に残っています。実際に装着することで、普段装着している患者さんの感じ方を少しですが体感することができたからです。患者さんと接する中で、こういった感じ方にも念頭におかなければならないと思いました。

和歌山病院ではいくつかセミナーを受けたのですが、その中では様々なことを教えていただくだけでなく、実際に一から自分の頭で考えてみるという機会を頂きました。難しかったのですが、考えて理解して学ぶということの大切さを改めて感じることができ、学ぶことがとても楽しく感じました。

これから先の実習でも様々なことに触れ、悩んでいくかと思いますが、今回の実習で感じたことを忘れずに何事も一回考えてみるという姿勢を忘れずに取り組んでいきたいと思います。最後になりましたが、南方先生を始め、この実習でお世話になった全ての人々に深く御礼申し上げます。